

ぼくと私の神社ウオッチング



愛知県神社庁は8月10日、本県田原市にて、恒例の「ぼくと私の神社ウオッチング」を開催した。本年は県内の神職子弟など116名の参加を得た。

この企画は各地に鎮座する氏神様の護持運営を担う次世代の後継者育成を主な目的としており、神職子弟や氏子崇敬者の親子の参加を得て行われている。本年は、「渥美の自然と古代の風を感じて」と題し、田原市内各所にて神社参拝と様々な体験学習を行った。

県内各地からバスで田原城址に鎮座する巴江神社に集合。正式参拝では児童代表3人が玉串奉奠の後、結団式。白井清夫副庁長より「ここ渥美半島は愛知県の端ですが、ご遷宮を控えておられるお伊勢様とは20キロしか離れておらず、昔からとても関係の深い場所であります。いろいろな体験を通し、様々な事を学んでいただきながら、1日楽しく過ごして下さい」との挨拶が有り、また三浦正典教化委員長からは「100名余の参加、感謝申し上げます。怪我なく、夏休みの良い思い出を作して下さい」との言葉があった。終了後、華山会館へ移動、スタッフの前導により元気に食前感謝・食後感謝を行い昼食を摂った。

続いて隣接する華山神社を参拝後、農業体験型テーマパーク「サンテパークたはら」に移動。園内体験工房にてアイスクリーム作りを体験、約1時間をかけて地元産の牛乳とバニラビーンズを使ったアイスクリームを作り、完成後はその場で美味しくいただいた。

その後、吉胡貝塚史跡公園「シェルマよしご」へ移動。ここでは古代の火おこし体験を行った。伊勢神宮で現在も行われている火きりと同じ方法を用い、火がつくと子供達から大きな歓声が起こった。その後、田原臨海風力発電所の風車群をバス内から遠望見学後、1日の思い出を胸に帰路についた。